

2012

NPO 法人神田雑学大学 定例講座 No.591

2012年3月9日



3月10日「東京大空襲」あれから67年！

講師

～心をこわされた子どもたち～

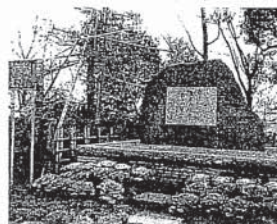
浅見洋子

空襲後67年 子どもらの過去・現在・未来

1. 過去（東京に落とされた爆撃）

- 1942年4月18日に東京都荒川区尾久が初空襲
- 1945年3月10日、3年後の空襲

空襲の被害を受けたことを示す碑
(東京都台東区)



2. 現在（過去を踏まえ今をどう生きているか）

① 心の傷を背負って生きるとは

- 杉山千佐子さんの場合—29歳で爆撃を受け、左目を失う。
1973年に全国戦争障害者連絡会を発足、以来国会に「戦争災害
援護法」の制定を求め続け国会に陳情を続ける。



② 傷害を背負って生きるとは

- 安野輝子さんの場合—6歳で爆撃を受け、左足がもぎ取られた。
父と末子の次男を亡くす。以来、母は女手一つで障害を持つ娘と長
男を育てた。懸命に生きた母の人生を思い、自身松葉杖を友として戦
争の悲惨さを語り、平和を守一念で毎日を過ごしている
2012年2月13日のドレスデンでの人間の鎖に参加した。

③ 戦争孤児となって生きるとは

- 《詩集「独りぼっちの人生（生活）」から見えたもの》
戦争体験の悲惨さ惨めさを語り、平和を守ることの大切さを伝える。

3. 未来（戦争を知らない人たちが伝える戦争）

- ① 墨田区立文化中学校 深見響子教諭の出現
- ② 音楽工房「ワルツ」との出会い
- ③ 金沢朗読の仲間達
- ※ 俳優 岩崎加根子さんとの出会い

上空より隅田川の向こうに江東方面、手前は中央区、焼け野原



革靴だけが焼け残った死体 谷村公司・切絵

国の起こした戦争で殺され、

国から棄てられた民間の弱者

東京大空襲

現在も続く苦しみ、

孤児、傷害者、

空襲死者の叫び

公園などに埋められた遺体は、3年後より公園整備という名目で、死体発掘作業が行われた。遺体は腐りきり、氏名も判明せず、頭蓋骨から数え105,400体あった。この遺骨は関東大震災追悼施設内に置かれたままになっている。死者はまだ安眠できてない。

国立戦災追悼施設の建立を切に願っている。



追悼碑の建立を

一つの骨壺に約300体の遺骨

広瀬美紀・写真

東京空襲死者

10万人以上の死者を放置

荒れ狂う大火流、ふとんや雨戸が空に舞う。幼児が宙に飛んでいった。容赦なく降り注ぐ焼夷弾、火災地獄のなか人間が生きながら燃え尽きた。黒こげの死体が山になった。

人々は絶叫しながら川へ飛び込んだ。川は溺死、凍死、ショック死、死体で埋まった。

3月10日早朝、軍命令が出され、死体処理がはじまった。中学生や囚人まで動員し、公園などに、形のある遺体10万人以上を埋めた。

錦糸公園13,000体、猿江公園13,000体。(阪神大震災の2倍)など、130ヵ所に及ぶ。軍が直ちに死体処理を行ったため、空襲死者は行方不明になった。遺族は遺体を手にできなかった。

また、海への流失や、ガレキとなったり、埋没した遺体は、この10万体に含まれていない。東京空襲では大多数が行方不明になった。

遺族に引き取られた遺体や、火傷などで後で亡くなった人など合計すれば、死者数は？ 現在も不明。



1945年 赤羽駅で 狩野光男・絵
機銃掃射で片腕を失う



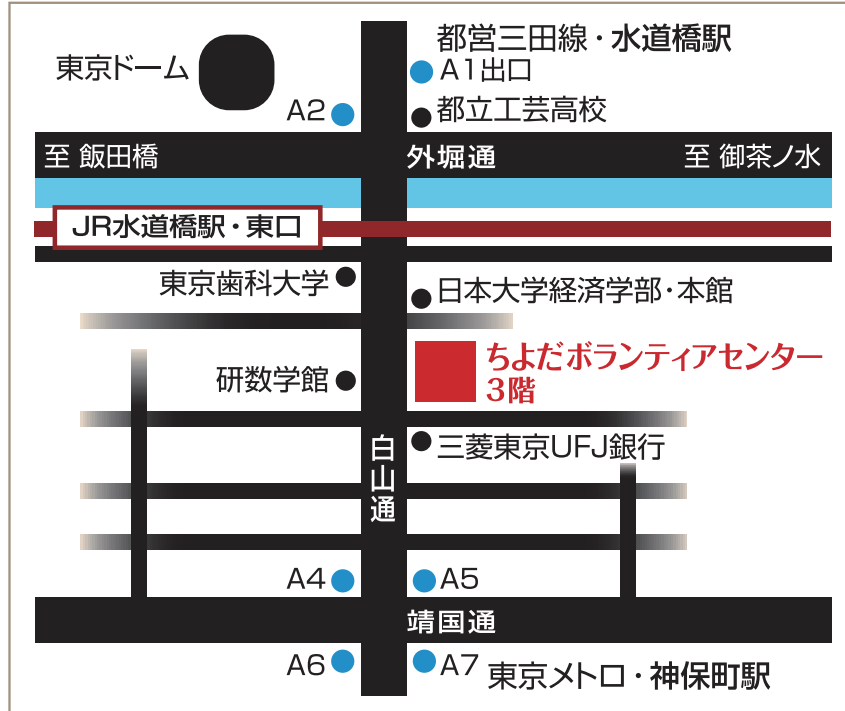
省線遺体 狩野光男・絵
遺体を背負って省線(山手線)に乗り込んできた人。遺体を置いておくと処分されてしまうので、遺体を持ち歩いていたようだ。

傷害者 焼夷弾の直撃をうけ、腰に穴があく。自費で入院治療。現在、歩くのも困難。空襲で腕や足を失ったり、目が潰された傷害者たちは、人生を狂わされた。

戦災孤児 学童疎開中に都市空襲で親を殺され、家を焼かれ、孤児になった児童が多い。一人で生きられない子は浮浪児になった。国から放りだされた戦災孤児たち。辛酸をなめつくした。

空襲死者・遺族 罪のない一般市民が残酷に殺された。一家全滅も多い。非業の最期を遂げた肉親を葬ることさえできなかった遺族。空襲で難民となった遺族は、現在も苦しんでいる。

講演会場地図



● [ちよだボランティアセンター] 水道橋駅下車5分